

## 第5章 職業能力開発大学校・短期大学校に対する要望

## 第5章 職業能力開発大学校・短期大学校に対する要望

### 第1節 能開大の取り組みに対する要望

Q9. 公共の職業能力開発施設として、職業能力開発大学校はどのようなことに取り組むべきと思われますか。(いくつでも○)

能開大の取り組みに対する要望を尋ねたところ、多かった回答は、「社会人となるための基礎教育」50.6%、「基礎的な技能の育成」48.9%、「製品の開発、生産工程の構築等に対応できる将来の生産技術・生産管理部門のリーダー育成」47.0%、「生産等に対応できる技能・技術と適切な判断能力を有する将来の生産ラインのリーダー育成」46.7%であった。

「その他」の回答としては、「リーダーシップの育成」、「即戦力」、ソフトウェア開発やIT関連の技術者育成などが多かった。

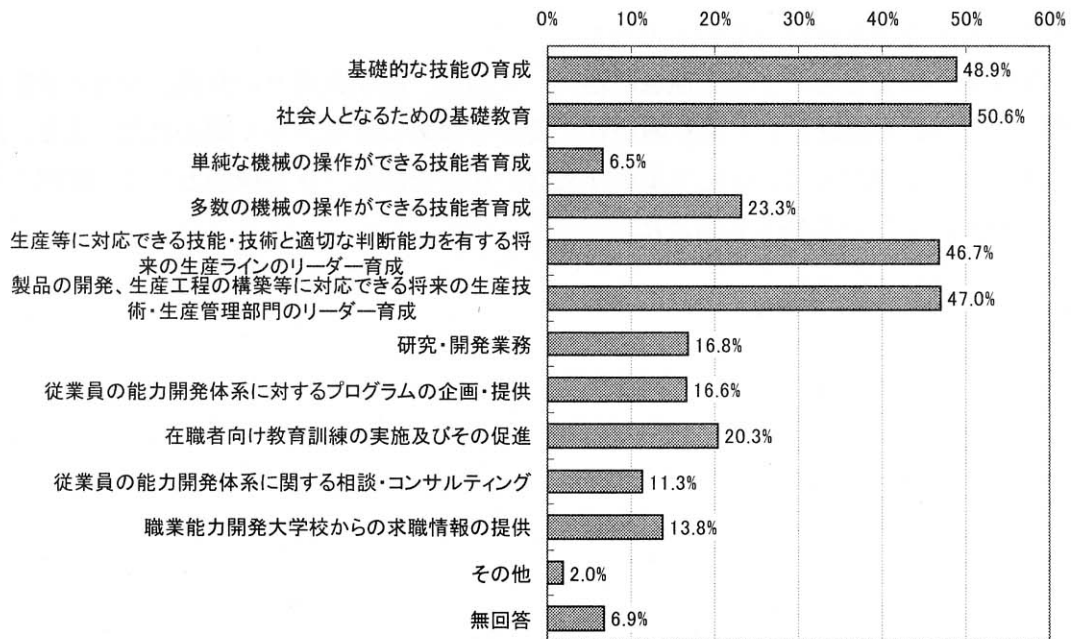


図5-1 能開大の取り組みに対する要望 (n=1977)

## 第2節 能開大に対する意見・要望（自由記述）

Q10. 職業能力開発大学校及び公共の職業能力開発施設に対するご意見、ご要望がございましたらどのようなことでも構いませんのでご自由にご記入ください。

調査の最後項目として、能開大への要望・意見に対する自由記述欄を設けた。

多くの回答が集まったが、それらは大きく、人材育成への意見・要望、授業内容への意見・要望、能開大卒業生への評価、能開大への意見・要望、に分けられた。

人材育成に対する要望としては、基礎力充実、即戦力、人間形成、リーダーシップと進取の気概、仕事に対する意識の醸成などが多かった。

授業内容に対しては、在学中の技能に関する資格取得を望む意見が多かった。また、海外工場での就労やマニュアル理解のための英語教育や、IT 関連への対応など、それぞれの企業からの個別ニーズが聞かれた。

能開大卒業生への評価は、全般的には期待と良好な評価の声が多く、能開大に対しても、ものづくり教育施設として今後に期待する意見が寄せられた。しかし、一般教養等の不足など不満を述べたものもあった。

能開大への意見としては、地域に根付いた活動、民間企業との交流、もっと PR が必要、など、公共施設としてより開かれた姿勢を求める意見が多く聞かれた。また、地方企業や中小企業からは、自社でまかなえない部分を補完できる機関として、能開大の存在を頼りにしている様子も伺えた。

表5-1 自由記述（主なもの）

## ＜人材育成への意見・要望＞

基礎力の充実（11件）

- 基礎知識が“自分のもの”となっていないため、応用力が不足している気がします。根幹を成す原理、原則は徹底的に理解させて欲しい。
- 各機材に対し、どのような加工が出来るのか、又は、どのような事が出来るのか基礎的な知識を身に付ける。

即戦力・実践力・応用力（16件）

- 一般の大学と差別化する為に、社会に出てすぐ通用する実践に適用する力を付けてもらいたい。
- 基本技術を身に付けていながら、応用ができない→簡単な修理、チェックなどできる技術技能を身に付けてほしい。

人間形成（17件）

- 社会人としての必要最低限の礼儀作法を身に付けさせてから卒業させていただきたい。重要な職業能力の一つであると考えます。

リーダーシップと進取の気概（7件）

- 指示待ち人間が多い。これが、ここ数年の新卒採用者の印象です。自ら考え、周りを巻き込んで研究にあたることのできる人材育成が必要だと思えます。

仕事に対する意識（6件）

- 何の為に物づくりをするのかとか自分が何を作りたいのか目的をつかめるよう
- ものづくり日本の再構築のための役割が大きく期待されます。一般の理工系四大との特色の違いとして、単なる知識・理論の習得でなく、実践とからめて Skill を身につけさせるがあるかと思えます。そのコンセプトをキープしながら、Spirit、Sense、Manner を有するエンジニア育成が企業にとっても学校にとっても重要な課題だと思えます。

その他（15件）

- 学生を技能者又は技術者と育てること。

## ＜授業内容の意見・要望＞

在学中における資格取得（7件）

- 技能検定等に於ける国家資格の取得、有資格者育成、新生産システム等の構築、または基礎研究、共同研究。
- 在学中に種々の資格を取得する体制を整えては…。
- 現場技術が有能であっても資格が無いと現場代理人にはなれません。ぜひ資格習得させて下さい。

期間が短い（4件）

- 専門分野の範囲は広く、短い期間での教育には限界があると思えます。広い範囲の基礎知識や技能教育が大切だと思えます。それが応用力にもつながると思えます。もうひとつは自分の意見・考えを持った人々、それを表現できる能力の備わった人創りを期待します。

カリキュラムに対する具体的な要望（22件）

- 情報処理関連。
- 静脈物流、環境コスト等の教育。著作権、不正競争防止法等の教育。
- 建設現場の於ける機械器具、ラックビル等の据付、設置の出来る技術者（作業員）及び付随した電気工事上の養成ができると良い。経験－実践を経て現場の担当責任者となれる人材育成コースがあると良い。即戦力となる人材が採用したい現状です。
- 応用化学系の学科設置を希望する。
- 技術者といえども語学力は大切です。弊社では海外工場への出向（1～2年）もありますので、英語又は中国語で技術的な用語を知っていると助かります。
- 弊社の事で恐縮ですが、航空機の整備についてはマニュアルが英語で書かれていますので英語力の強化にも力を入れていただければと思います。
- 弊社は電子機器等に組み込まれます。プリント基板の設計という特殊な分野になります。CAD-CAMを使い電子回路の実装設計をしていくのでCAD操作が必須条件となり、この方面での適切な能力を有する育成を望みたいところです。
- Mac の講座を復活していただきたい。現状では産業デザイン科がなくその知識技術をもって卒業してくる生徒がいない。

<能開大及び卒業生への意見・要望・評価>

能開大に期待 (10件)

- モノづくりにおいて、基礎となる技術知識は大変重要です。企業は即戦力となる人材を欲しています。教育訓練費はコスト高となるので、能力開発大学校での知識習得、技術は、重要度が高いと思います。
- 今後ますます、人づくり、ものづくり、なくてはならない教育施設として存在意義を高めていただきたいです。

能開大の評価 (21件)

- 基礎的能力を既に持っている、希望職種が当社の職種と合った場合は、成長が早く、零細企業にとっては大変な事です。今後とも機会があればお願いしたいと考えています。
- 弊社では毎年貴校より優秀な学生さんを受け入れることができ、高い評価をしております。技術・技能も大切ですが、情熱のある学生さんを今後もお願ひしたいと思っております。

その他 (5件)

- 従業員のトレーニングを実施する際、利用しています。実践的なカリキュラムで良いと思う。設備を新しくして、最新の生産技術に対応されることを期待します。

<その他能開大への意見>

PRすべき (7件)

- 貴大学の活動内容について、民間企業の多くは知識を持ち合わせていないように思います。いろいろな場を通じてのアピールが必要かと思われます。
- 御大学のPRを地元にもっとしてほしい(地元に対する利用率、教育内容等)。
- 認知度が今一步の感じがするのでもっと企業とのパイプを太くすべき。社会に対して開かれたイメージの醸成が必要かもしれません。

地方・地域、中小企業、民間企業との交流 (9件)

- 協同で開発テーマを持って研究したい。
- 企業が行っている各種教育について情報収集と他社に展開できるものについてはネットワークを使い広報、宣伝して欲しい。
- 現メーカーのニーズに近い様なカリキュラムを組んで頂けたら、さらなる雇用促進につながるかと思ひます。
- 5年位前に、職業能力開発大学校へ講習会(人材開発と題しての講習)に参加し、TV会議システムを利用した学校間の会議のやり取りを実際に見た時、これからはこの方式だなどの印象を受けた。今後も地域に根差した最先端技術を取り入れて情報発信を行って欲しい。
- 地域の企業に対して、学内の技術を提供して欲しい。現在も年次計画的に資金を準備して実施しておられるようですが、企業側からすると計画的な内容とは別にビジネスチャンスは巡って来ます。その際に企業内技術だけでは達成不可能な場面もあり、こういった内容への技術援助をタイムリーに行うようなしくみはできないものでしょうか?こういったプログラムにより相互の技術交流、人材交流、新卒採用へといった流れを作ることも可能かと思ひますが…。

その他 (20件)

- 生産業務に追われて全て時間的余裕がない。新分野開発において理論・技術等、相談・依頼出来る様にしたい。
- 学校側からの積極的な新卒者の紹介をお願いします。